

## 消防大山役場分団の新設

町外への仕事などの理由により、昼間の消防団活動が難しくなりつつあった大山地区の日中の火災に対応するため、4月に大山町消防団大山第4分団として大山役場分団が編成されました。団員は大山地区出身の役場職員で編成されており、大山地区で発生した火災から人命や財産などを守る第一線での活躍が期待されています。大山役場分団は、やはり昼間の消防団活動が難しくなっていた中山地区に、平成10年10月に編成された大山町消防団中山第4分団（中山役場分団）以来、役場の2つ目の分団となります。



▲納車式後の記念撮影。写真左側が新設された大山役場分団。後方の消防車が今回納車されたもの。右は先輩になる中山役場分団。中央は田中豊・前総務課長。

大山分団の編成に先立って3月19日に、大山役場分団の中心装備となる消防自動車の納車式が行われました。

## 安心・安全の灯がともる

道の駅「大山恵みの里」横の交差点に、このほど待望の信号機が設置されました。

この交差点は、付近の住民が道路を横断するのに信号もなく、以前から危険が指摘されていました。



▲「信号は道路を渡るのにありがたい」と西田さん（左）「交通事故がなくなることを祈る」と初田課長（右）

新しく設置された信号機は感応式で、八橋警察署交通課初田和也課長と地元住民代表の西田善市さん（坪田3区）役場交通安全担当職員の立会いの下、4月2日の正午より運用が開始されました。

### ☆感応式信号機とは？

接近する自動車をセンサーが感知し、自動的に信号を切り替える方式の信号機です。今回設置される交差点の場合、通常は山陰自動車道の上下線が青（進行）、山陰自動車道に接続する町道が赤（停止）を表示します。接続する道路に自動車接近すると、山陰自動車道の信号を赤（停止）に切り替えます。

## 交通事故を防ごう！

4月7日、福尾の交通観測所で米子市と大山町の交通安全協会会員、警察官、行政職員など約40人が、ドライバーに安全運転を呼びかけました。これは毎年4月6日から行われている、春の全国交通安全運動期間中の行事の一環として行われたものです。



←一台一台、ドライバーに安全運転を呼びかけました。



▶むきばんだも交通安全に一役買いました。

大山町では昨年43件の交通事故が発生し、7人の方の尊い命が失われました。今年こそは交通事故を防ごうと、春の全国交通安全運動のスローガン「事故ゼロへ心をつなごう 手をつなごう」を胸に、安全運転を呼びかける会員たちにも力がこもっていました。